

コモンズ・フォレスト ～里山レンタル～

概要

利根川源流域のみなかみ町の里山で、自力では管理できない山林所有者から森を借り受け、1ヘクタールごとに区画を作り、流域の人々にレンタルし協働で管理していく取り組みです。モニタリングをしながら、適切に森林を管理し、生物の多様性のある豊かな里山を再生させます。利用料の一部を山林所有者に還元することにより、新たな里山の価値を生み出し、地域への愛着や誇りを取り戻すことを目指します。

「世界から注目される日本の里山 SATOYAMA」

2022年12月にカナダで開催されたCOP15において世界目標として決まった「30 by 30」(2030年までに世界全体で陸地と海のそれぞれ30%以上を保全地域にする)を達成するため、OECMという保護地域以外で生物多様性保全に資する地域(OECM: Other Effective area-based Conservation Measures)を日本も増やしていかなければなりません。環境省では、2023年から100地域以上のOECM認定を目指す計画です。日本の豊かな里山は世界から注目されており、この事業でOECMとしての認定をめざします。

対象(ターゲット)

環境保全に積極的な利根川流域の都市住民、企業、学校団体等

薪ストーブユーザー、普通のキャンプに飽きたアウトドア愛好家、DIY愛好会など

事業内容(実現性) 里山レンタル

●フィールド

みなかみ町の自力では管理できなくなってしまった森林所有者と提携し、おおむね1ヘクタールあたりの区画を設定し、1年単位で利用者希望にレンタルする。人工林、広葉樹林、伐採跡地、など多様な森を対象とします。

●レンタル料について

年間契約で複数年の更新利用も可能です。複数区画をまとめて利用も可能です。

料金 120,000円/年/1区画(1ha)



●利用条件

里山の生物多様性が豊かになる管理方法であれば、基本的に自由に使うことができます。専門スタッフと一緒に毎年間伐する対象木の選木等をおこない森の状況をモニタリングしながら整備をおこないます。間伐対象の木であれば、自由に伐採利用できます。

キノコ、山菜などの林産物については、生物の多様性を損なわない範囲で自由にとることができます。

資機材のレンタルや伐採等の個別指導、薪づくりや製材などの委託も可能です。

季節ごとに森林観察や伐採体験、薪づくりやキノコ栽培、炭焼きなどの講習会等を実施します。

オプションプログラム みんなで面白いアイデアをだしながら挑戦します！

例：

猟師による野生動物の捕獲罠を設置してジビエを Get

ミツバチの巣箱を設置して蜂蜜を Get

間伐材にキノコの菌を植え付けてキノコを Get

ホビットハウスを作ろう！秘密基地作り

ライブカメラを設置し季節の変化をいつでも確認



事業を行うにあたっての課題

生物多様性の定義を明確にして利用者と共通認識を作っておく必要がある。

土地所有者に事業の目的をよく理解してもらい、長期きわたって管理できる仕組みを作る。